

論文審査の要旨

報告番号	甲 第 2717 号	氏名	中村 暖
論文審査担当者	主査 内田 直樹 副査 高木 康 副査 小風 暁		
(論文審査の要旨) <p>本論文は平成 24 年 4 月 1 日時点で昭和大学附属烏山病院慢性期病棟に 5 年以上の長期入院をしていた統合失調症患者 56 名を対象に、入院時～平成 25 年 6 月 30 日までの期間における心血管疾患及びメタボリックシンドローム (MSDs) の有無、BMI の変動、抗精神病薬の種類等を診療録から後方視的に調査し、統合失調症患者群の心血管疾患及びそのリスクファクターである MSDs の発症率を一般人のデータと比較したものである。</p> <p>患者群において、BMI は概ね変動なく経過し、心血管疾患及び MSDs の発症率は一般人のデータと比較してほとんどの項目で抑制されていた。また、抗精神病薬の定型薬と非定型薬の間で、心血管疾患及び MSDs の発症率に有意差は見られなかった。</p> <p>本論文により、厳密な食事管理のもと、十分な内科的治療が行われる入院環境では、統合失調症患者における心血管疾患及び MSDs の発症が抑制される可能性が示唆され統合失調症に対する心血管疾患や MSDs の発生予防を考慮した治療戦略の確立に寄与する新しい新しい知見を得るに至った。本論文は学術上価値のある学位に値するものと判断した。</p> <p>論文題名： Reduced prevalence of cardiovascular disease and metabolic syndrome-related disorders among Japanese long-term inpatients with schizophrenia (長期入院中の統合失調症患者における心血管疾患及びメタボリックシンドローム関連障害の発症率減少に関する研究)</p> <p>掲載雑誌名：Clinical Neuropsychopharmacology and Therapeutics Vol.6 2015 年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)